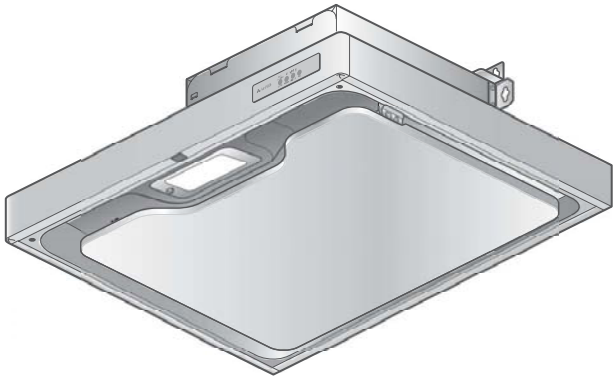
AirPRO

レンジフード
取扱説明書 保証書付

UGR-3R-AP602R/L
UGR-3R-AP752R/L
UGR-3R-AP902R/L



もくじ

安全上のご注意……2～3
使用上のお願い……4
使いかた……5～7
　各部のなまえ……5
　操作スイッチ……6～7
運転自動停止について……8
お手入れのしかた……9～18
　取りはずしのしかた……10～11
　組み立てのしかた……11～12
　お手入れのしかた……12～13
　ファンのお手入れのしかた……14～16
　ランプ交換のしかた……17～18
故障かなと思ったら……19
仕 様……20
アフターサービス……21
修理を依頼されるときは……22
保証書……23

販売店・工事店様へ：
この取扱説明書は取り付け後、施主様へ必ずお渡しください。

このたびはレンジフードをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用される前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは取付説明書とともにいつでも見られるところに大切に保管してください。

1802 Z982
1802Z982

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の２つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告：**人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。**

⚠ 注意：**人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。**

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示の例

⃠ 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠ 警告

分解・修理・改造禁止

● **修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造はしないこと**
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります

使用禁止

● **交流 100 V以外では使用しないこと**
火災・感電の原因になります

濡れ手禁止

● **電源プラグは、ぬれた手で抜き差ししないこと**
感電やけがをするおそれがあります

ほこりをとる

● **電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふくこと**
火災の原因になります

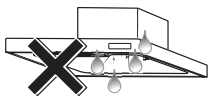
プラグを抜く

● **お手入れやランプ交換の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること**
感電やけがをするおそれがあります

分電盤

水かけ禁止

● **電気部品（モーター・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと**
ショート・感電のおそれがあります



操作禁止

● **ガス漏れのときは、スイッチを操作しないこと**
爆発・引火のおそれがあります

安全上のご注意

⚠注意

運転停止

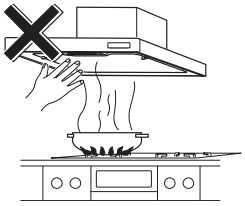
● **調理中、油に火がついたときは、運転を止めること**

運転をしていると火の勢いがより強くなり火災の原因になります

接触禁止

● **調理中は、整流板や周辺の部品に手を触れないこと**

整流板や部品が落下して、やけどやけがをするおそれがあります



接触禁止

● **運転中は指や物を絶対に入れないこと**

けがをするおそれがあります

使用禁止

● **本体に異常な振動が発生した場合、使用しないこと**

本体・部品の落下によりけがをするおそれがあります

使用禁止

● **指定以外のランプを使わないこと**

ランプカバー周辺が高温となりやけどをするおそれがあります
また、火災や故障の原因になります

接触禁止

● **ランプカバーおよびその周辺には、手を触れないこと**

高温になるためやけどをするおそれがあります

高温注意

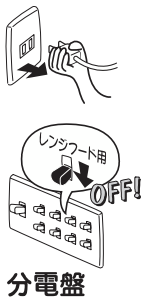
● **ランプの交換は、ガラスやランプが十分冷めてからおこなうこと**

やけどをするおそれがあります

プラグを抜く

● **長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること**

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります

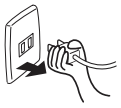


分電盤

プラグを持って抜く

● **電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと**

コードにキズが付き、火災や感電の原因になります



手袋をする

● **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**

鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

取付注意

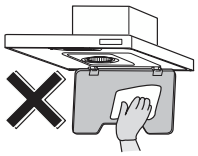
● **お手入れの際にはずした整流板やファン、部品の取り付けは確実におこなうこと**

落下によりけがをするおそれがあります

落下注意

● **整流板を本体から取りはずさずに、右図のような状態でお手入れをしないこと**

落下するとけがをしたり、部品のキズ・変形の原因になります



落下注意

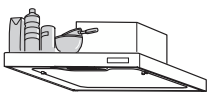
● **部品の取り付けまたは取りはずしの際は、部品を落とさないように両手でしっかりと支えること**

落下するとけがをしたり、部品のキズ・変形の原因になります

禁　止

● **レンジフードの上に物を置かないこと**

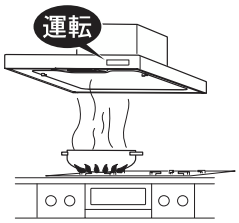
落下によりけがをしたり、火災や故障の原因になります



使用上のお願い

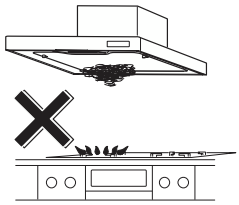
● **調理機器を使用するときは、必ずレンジフードを運転してください**

運転しないとフード内の温度が上がり、製品の損傷や高熱による故障の原因になります



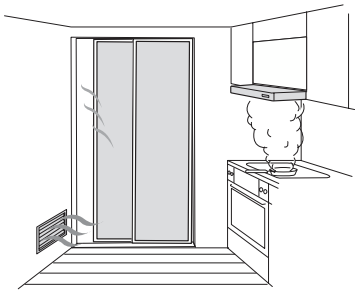
● **調理機器の空焚きは絶対にしないでください**

製品の損傷や高熱による故障の原因になります



● **レンジフードの運転中は給気をおこなってください**

レンジフードの反対側の壁に空気の取入口を設けるか、部屋の扉を少し開けてください
空気の取り入れが不十分ですと換気性能が低下したり、レンジフードに異音・振動が発生する場合があります



● **部屋の扉や窓からの風が強い場合には、横風等の影響で煙の捕集性能が悪くなる場合があります**

レンジフード近辺の扉や窓からの横風等の影響がないようにしてください

● **エアコンの風が直接あたらないようにしてください**

風を受けると、吸い込みが悪くなります
オープンな場所では特にレンジフードから漏れやすくなります

● **キッチンの気温が低いときに使用された場合にはレンジフードの表面が結露することがあります**

結露した場合はふき取ってご使用ください

● **IH クッキングヒーター（電気コンロ）を使用時、レンジフードがあたたまりにくいため、結露（水滴）が生じることがあります**
お手数ですがその際は滴下する前に拭き取ってご使用ください

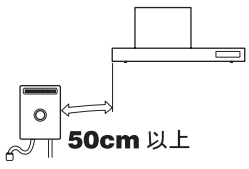
特に冬期など気温の低い状況では結露が発生しやすくなりますのでご注意ください

● **グリル付の調理機器と合わせて使用する場合、グリル排気口から出る煙によって、壁パネルが結露することがあります**

結露した場合は拭き取って使用してください

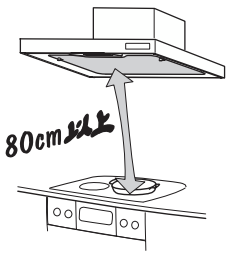
● **湯沸器はレンジフードから 50cm 以上離してください**
レンジフードの下部には湯沸器を絶対に取り付けないでください

製品の損傷や高熱による故障の原因になります



● **調理機器の真上、80cm 以上に取り付けてあるか確認してください**

火災予防のため、製品の下端から調理機器の真上まで 80cm 以上必要です

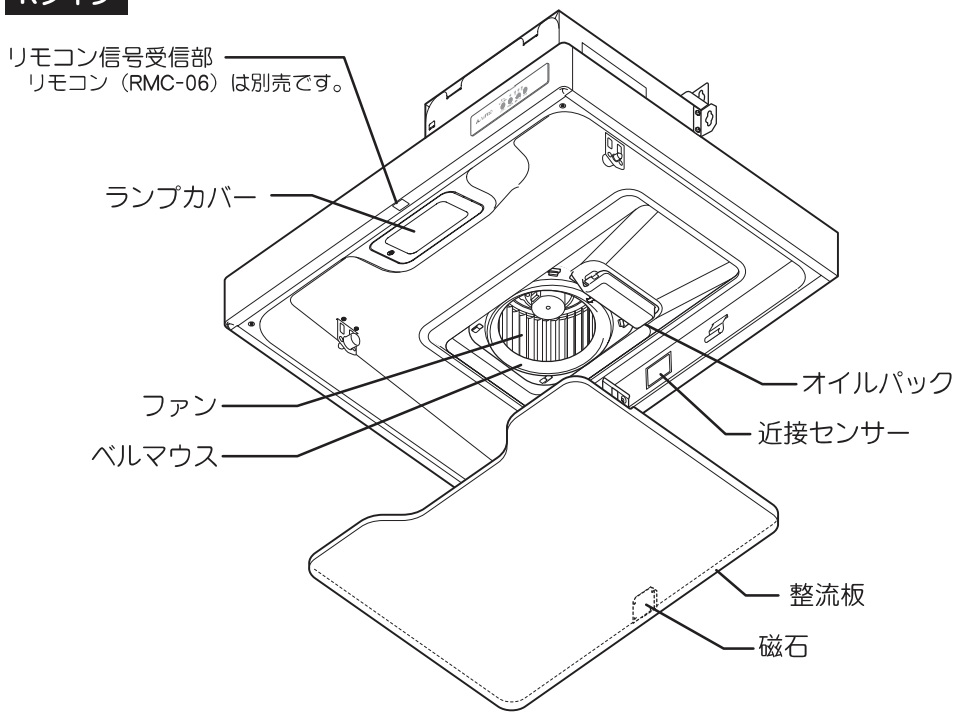


使いかた

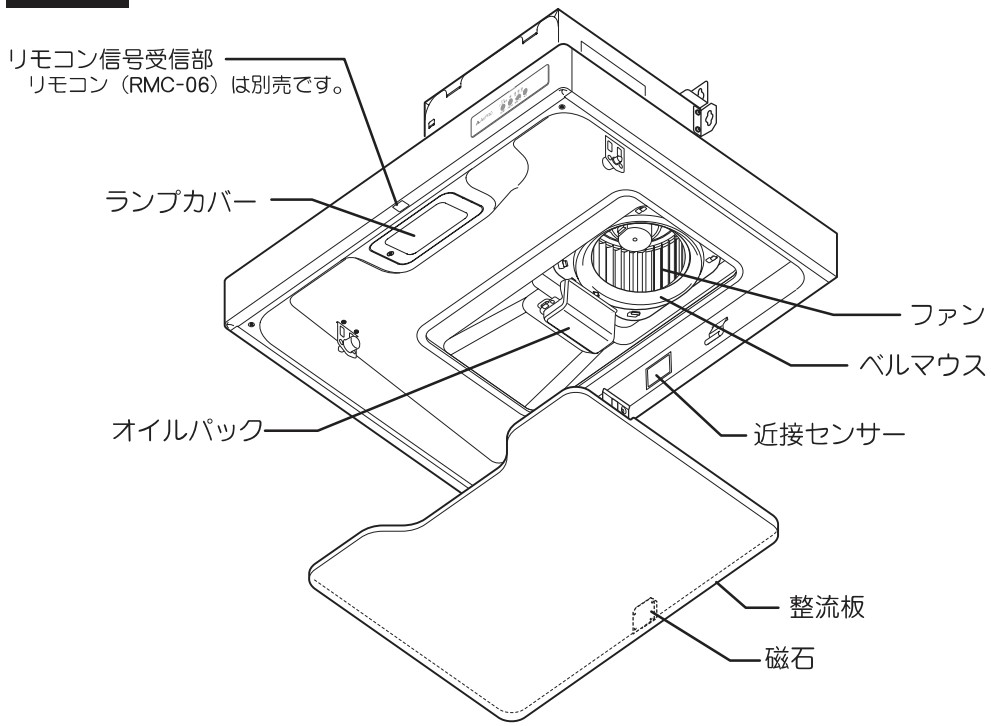
各部のなまえ

本製品はこれまでお手入れが面倒だったフィルターがない
ノンフィルタータイプのため、お手入れが楽にできます。
調理中に発生した油や水蒸気は、ファンの遠心力で分離されて、
独自のオイルキャッチ構造によりオイルパックに回収します。

Rタイプ



Lタイプ

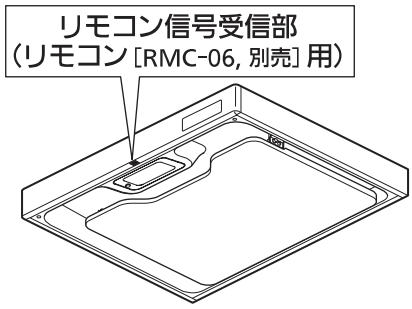


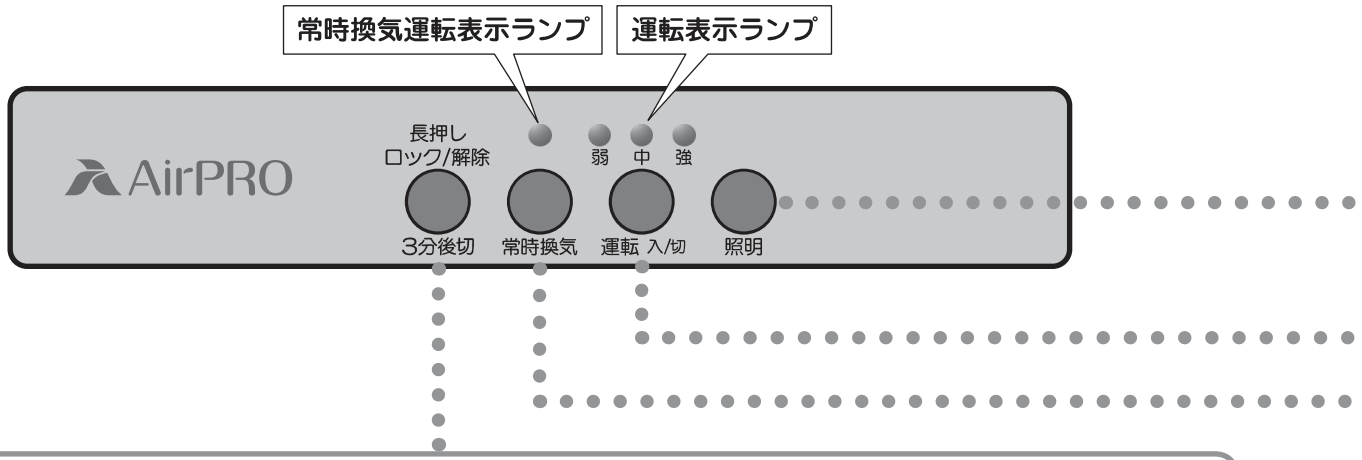
1802 Z982

使いかた

操作スイッチ

※レンジフードの操作には別売リモコンスイッチ（品番：RMC−06）もご使用になれます。
（リモコンスイッチでは常時換気の設定／解除、およびスイッチのロック／ロック解除はできません）





長押し
ロック/解除
3分後切

3分後切スイッチ

通常、調理が終わった後は、長押し ロック/解除 3分後切 スイッチを押してください。そのままの風量で約3分間運転し続けて自動的に運転を停止します（3分後切機能）。
3分間のタイマー運転により、調理の後の臭いやファンについた油汚れなどを軽減させます。

※常時換気運転が設定されている場合は、約3分後に常時換気運転に切り替わります。

※照明は消えません。照明 スイッチを押すと消えます。

■ スイッチの「ロック」

スイッチを「ロック」すると、スイッチを押してもファン・照明は操作できません。

長押し ロック/解除 3分後切 スイッチを約3秒間押し続けると「ピー」と音が鳴り、スイッチがロックされ、ファンは停止し、照明も消灯されます。同時に弱・中・強の3つのランプが点滅します。
この状態で、長押し ロック/解除 3分後切 以外のスイッチを押しても「ピピッ」と警告音が鳴り、ファン・照明は作動しません。また、別売リモコンスイッチの操作もできません。

「ロック」を解除するには、もう一度「ピー」と音が鳴り、弱・中・強の3つのランプの点滅が消えるまで 長押し ロック/解除 3分後切 スイッチを約3秒間押し続けます。ロック解除後は、必要に応じて常時換気、照明、運転・風量切替スイッチを再操作してください。

※ ロック操作は調理を終え、レンジフードが十分冷めた状態でおこなってください。
※ 停電した場合やブレーカーを切った場合は、ロックは解除されます。

使いかた

切り忘れ防止タイマー

このレンジフードは、最後に操作したときから約５時間運転し続けると自動的に運転を停止し、照明を消灯します。再び運転するときは、運転・風量切替スイッチを押してください。
なお常時換気モードが設定されている場合は、約５時間後に照明が消え、常時換気運転に切り替わります。

照明スイッチ

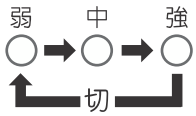
照明

スイッチを押すと照明が点灯します。スイッチを押すたびに点灯／消灯を繰り返します。

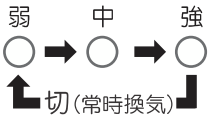
運転・風量切替スイッチ

運転 入/切

スイッチを押すたびに設定が変わり運転表示ランプが切り替わります。但し「強」の次は「切」になります。（「切」のときはランプは点灯しません。）



常時換気運転が設定されている場合は、「切」にすると常時換気運転に戻ります。



弱： 煙の少ないとき。
静かに運転したいとき。

中： 通常の運転のとき。

強： 煙の多いとき。
早く換気したいとき。

切： 運転を停止したいとき。
常時換気に戻したいとき。

常時換気スイッチ

常時換気

本レンジフードは建築基準法による住宅の常時換気をおこなう設備として使用できます。調理やお手入れのときを除き、連続換気ができます（運転表示は出ません）。
（風量は「弱」よりも少ない微弱モードで運転します。）

常時換気 スイッチを押すと常時換気運転に設定されます。常時換気運転を解除するには約３秒間押し続けます。

※ 通常運転時に常時換気の設定／解除はできません。
常時換気運転を設定する場合は 運転 入/切 スイッチを押し、ファンを停止してください。
専用調理機器と連動運転の場合も同様です。

※ 常時換気運転中に３秒以上押し続けると「ピー」と音がして、常時換気運転が解除され、ファンが停止します。

レンジフード連動タイプ専用調理機器と組み合わせてご使用になる場合

- 連動調理機器を着火すると、自動的にレンジフードは「中」運転をおこないます。
  この状態からレンジフードのスイッチ操作（運転停止・３分後切・風量切替・照明）がおこなえます。
- 調理機器を消火した際、レンジフードはそのままの風量で３分間運転を続け、自動的に運転を停止します。
  照明は消えません。
- レンジフードの風量調節および照明の入／切などの操作を調理機器前面の操作パネルでもおこなえます。
  （詳細については調理機器の取扱説明書をご覧ください。）

※ 対応する加熱機器は **NEC フォーマットの赤外線信号（38kHz）** を発信する機種に限定されます。
加熱機器のお問い合わせ・お求めは各加熱機器メーカーへお尋ねください。

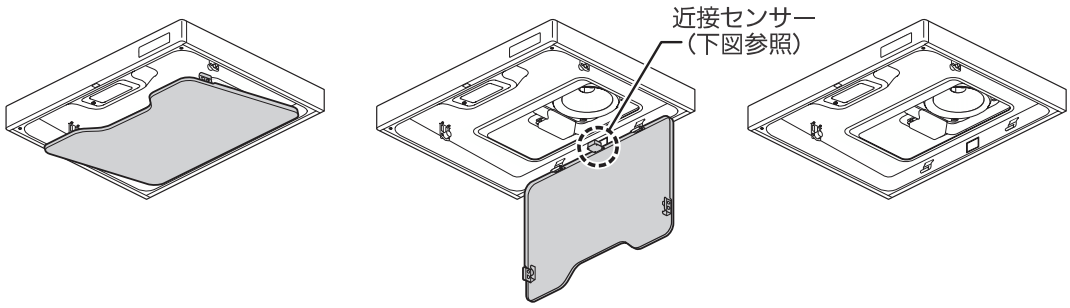
運転自動停止について

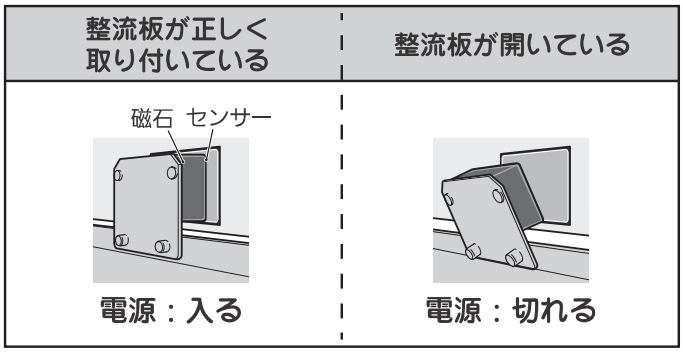
本製品は運転中に整流板が開いた状態（正しく引掛け部に固定されていない）になると、運転を停止します。

※自動停止したあとも、ファンは惰性で約 30 ～ 40 秒程回転を続けます。
※整流板を開いた状態や取りはずした状態では運転できません。

運転停止になる状態とその仕組み

整流板後端にある近接センサーが、整流板の開閉状態を監視しています。





お願い

●整流板の磁石をはずさないでください。また、ほかの磁石や磁性体等を近づけないでください。
●整流板を取りはずす際は、磁石がオイルパックにぶつからないようご注意ください。

運転を再開するには

①「切」スイッチを押す

②整流板を正しく取り付ける
「組み立てのしかた」手順 2（12 ページ）を参照してください。

③ご希望の風量の運転スイッチを押す

お願い

●整流板の取り付けが不完全な場合は運転できません。
●整流板を取り付ける際は、レンジフードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。

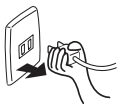
※ **3 分後切**、**スイッチのロック**、および**常時換気**の各機能をお使いになられていた場合は、すべての設定がリセットされますので、再度設定をおこなってください。（「操作スイッチ」（6 ～ 7 ページ）参照））

お手入れのしかた

⚠ 警告

● **お手入れやランプ交換の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること**

感電やけがをするおそれがあります



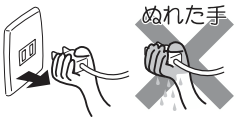
分電盤

● **電気部品（モーター・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと**

ショート・感電のおそれがあります

● **電源プラグはぬれた手で抜き差ししないこと**

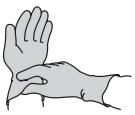
感電やけがをするおそれがあります



⚠ 注意

● **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**

鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



● **お手入れの際にはずした整流板やファン、部品の取り付けは確実におこなうこと**

落下によりけがをするおそれがあります

お手入れの際のお願い

● **調理直後のお手入れはしない**
- 調理直後はレンジフードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。

● **お手入れはこまめにする**
- 油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。【変質がひどいと擦っただけではがれることがあります。】
- 早めにおそうじいただきますと、汚れも簡単に落とせますし、塗装面の劣化も防げます。

● **中性洗剤を使う**
- おそうじの際には台所用中性洗剤をご使用ください。右図のものを使用されますと塗装面が変色したり、キズが付いたり、はがれたりするおそれがあります。
汚れがひどく、アルカリ性洗剤を使われる場合は、洗剤に表示されている使用上の注意をよくお読みになって、目立たないところで試してからご使用ください。

レンジフードの油汚れ落としに最適な、弊社推奨の弱アルカリ洗剤「サットレールスプレー」、「サットレールシート」があります。
お申し込み・お問い合わせは
フジテックメンテナンス株式会社 まで 0120−953−903

● **熱湯は変形のもと**
- ６０℃以上の熱湯は使用しないでください。樹脂部品が変形するおそれがあります。

● **ファンを変形させない**
- ぶつけたり、落としたりして変形したファンで運転すると、振動や異音が発生するおそれがあります。

● **ファンをはずした状態では運転しない**
- ファンをはずした状態で運転しないでください。モーターが過熱して故障の原因になります。

● **食器洗い乾燥機は使用しない**
- 取りはずした部品は食器洗い乾燥機で洗わないでください。塗装がはがれるおそれがあります。

ファン内部の汚れがひどい場合には、有償にて清掃を承っております。
お申し込み・お問い合わせは　フジテックメンテナンス株式会社 まで 0120−500−436

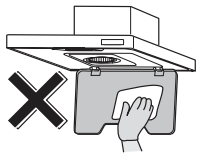
お手入れのしかた

取りはずしのしかた

⚠注意

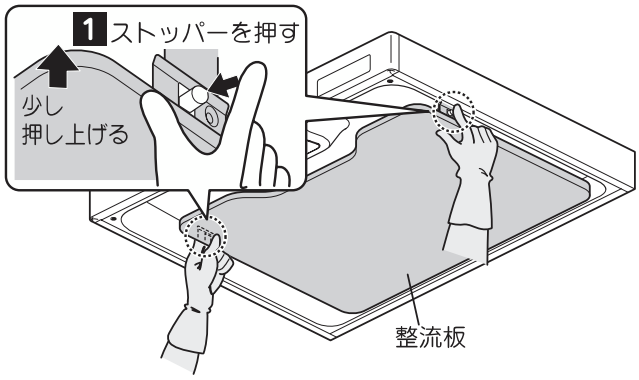
落下注意

- **整流板を落とさないように両手でしっかりと支えること**
- **整流板を本体から取りはずさずに、右図のような状態でお手入れをしないこと**
  落下するとけがをしたり、部品のキズ・変形の原因になります

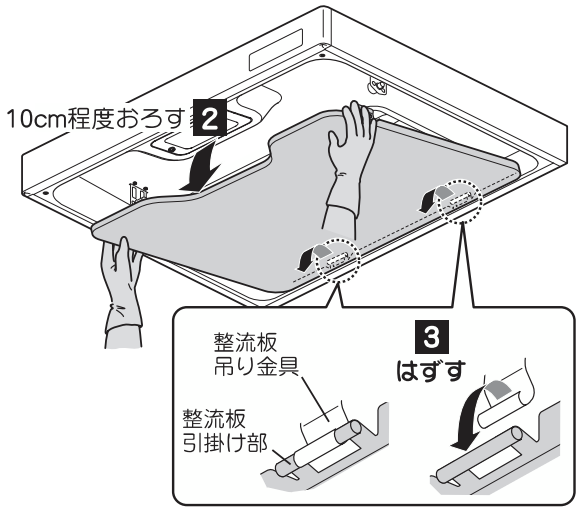


1 整流板をはずします。

1）整流板を両手で支え、少し押し上げるようにして整流板の左右にあるストッパーを押して引掛け部からはずします。



2）整流板を両手で支えながら、下へゆっくりおろします。



3）整流板の後ろを持ち上げ、整流板吊り金具から整流板引掛け部をはずします。

※ 必ず左右同時にはずしてください。
整流板吊り金具の変形の原因になります。

お願い

- 取りはずしの際は、整流板に油がたまっている場合がありますので、油ダレに十分ご注意ください。
- 整流板のお手入れの際は、整流板引掛け部、磁石取り付け部、および整流板吊り金具を変形させないようにご注意ください。
  変形させてしまった場合、整流板が取り付かなくなるおそれがあります。
- 整流板の磁石をはずさないでください。また他の磁石や磁性体等を近づけないでください。
- 整流板を取りはずす際は、磁石がオイルパックにぶつからないようご注意ください。

お手入れのしかた

※本製品は機種およびＬタイプとＲタイプでオイルパックの取り付け向きが異なります。
（図はＬタイプの場合）

2 **オイルパックをはずします。**

油をこぼさないようオイルパックを水平に保ちながら、回すようにして片側ずつ本体のツメからはずします。

お願い

●ご使用の状況により、油がたまらないことがありますが、異常ではありません。

組み立てのしかた

⚠警告

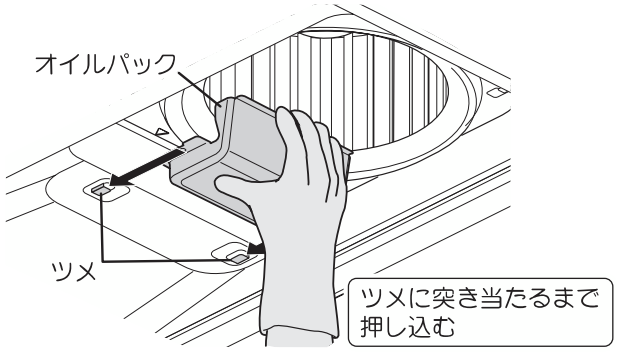
取付注意

● **お手入れの際にはずした整流板やオイルパックの取り付けは確実におこなうこと**
落下によりけがをするおそれがあります

※本製品は機種およびＬタイプとＲタイプでオイルパックの取り付け向きが異なります。
（図はＬタイプの場合）

1 **オイルパックを取り付けます。**

本体のツメ部分にオイルパックを差し込み、突き当たるまで奥に押し込みます。



お手入れのしかた

2 整流板を取り付けます。

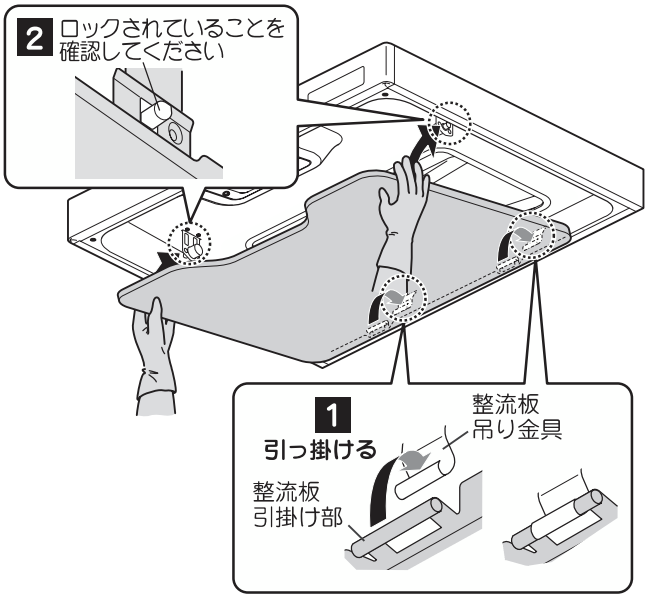
1）奥側左右の整流板引掛け部を、整流板吊り金具に確実に引っ掛けます。

2）整流板を両手で支えながら手前側を上に持ち上げ、左右のストッパーを押しながらロックします。

3）整流板を軽く上下に動かしてみて確実に取り付けられたことを確認してください。

お願い

●整流板の固定は確実におこなってください。
ロックが不十分ですと落下の原因になります。
また、取り付けが不完全な場合は運転ができません。



お手入れのしかた

取りはずしのしかた、組み立てのしかたは、10 ～ 12 ページをご参照ください。

⚠警告

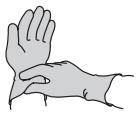
水かけ禁止

● **電気部品（モーター・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと**
ショート・感電のおそれがあります

⚠注意

手袋をする

● **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



お手入れのしかた

こまめにお手入れしてください。
油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。
早めにおそうじいただきますと、汚れが簡単に落とせますし、塗装面の劣化も防げます。

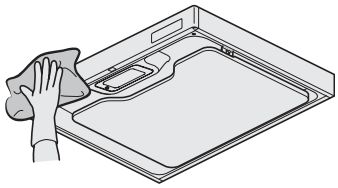
■ オイルパック

（汚れたらその都度お手入れしてください。 目安：１ヶ月に１回程度）
やわらかい布などで油をふき取り、ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を
やわらかいスポンジや布に含ませ洗ってください。
その後、洗剤が残らないように水洗いし、水気を取ってから取り付けてください。

お願い

●オイルパックは食器洗い乾燥機に入れないでください。
　塗膜の劣化により、塗装がはがれるおそれがあります。

■ 本体・整流板



（汚れたらその都度お手入れしてください。 目安：１ヶ月に１回程度）
中性洗剤溶液に浸した布で汚れをふき取ったあと、洗剤が残らないよう、
清水で湿らせた布で洗剤を良くふき取ってください。
特に下端部は汚れが付きやすいのでこまめにふき取ってください。

お願い

●はずした整流板は平らな面でお手入れしてください。変形・キズの原因になります。
●整流板を取り扱う際は、磁石をぶつけたり、はずしたりしないでください。
※金属ブラシやタワシなどの固いものは、処理面をキズ付けますので使用しないでください。
※アルカリ性洗剤を使用しますと、変色のおそれがあります。

※完了後は、電源プラグを抜いた場合は電源プラグを差し込んでください。
　ブレーカーを切った場合は、ブレーカーを入れてください。

お手入れのしかた

ファンのお手入れのしかた

⚠警告

プラグを抜く

● **お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること**
感電やけがをするおそれがあります

分電盤

水かけ禁止

● **電気部品（モーター・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと**
ショート・感電のおそれがあります

濡れ手禁止

● **電源プラグはぬれた手で抜き差ししないこと**
感電やけがをするおそれがあります

⚠注意

手袋をする

● **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

取付注意

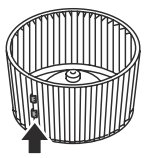
● **お手入れの際にはずした整流板やファン、部品の取り付けは確実におこなうこと**
落下によりけがをするおそれがあります

■ ファンのはずしかた

汚れがひどい場合でファンもお手入れする場合には次の手順でおこなってください。

お願い

- ファンを強く押さえたり、ぶつけたり、落としたりして変形させないでください。（異常な音や振動の原因となります。）
- ファンの回転バランスをとるために、おもり（クリップ状の金具）がついている場合がありますが、絶対にはずさないでください。（バランスがくずれ、吸い込みが悪くなったり、異音の原因になります。）


おもり

お手入れのしかた

※本製品は機種およびＬタイプとＲタイプでファンとベルマウスの取り付け向きが異なります。
（図はＬタイプの場合）

1 取りはずしのしかた（10 ～ 11 ページ）を参照して、整流板およびオイルパックをはずします。

お願い

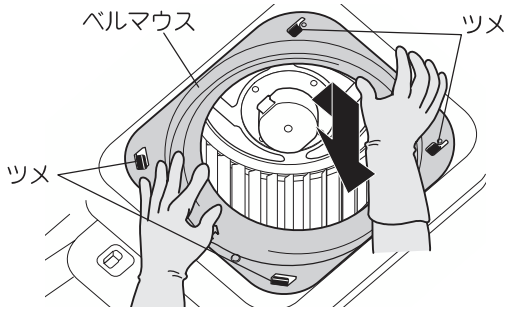
●不安定な姿勢で整流板をはずしたり、整流板を落としたりしないでください。
落下によるけがや器具類破損の原因になります。

2 ベルマウスをはずします。

ベルマウスをオイルパック取付位置と反対方向へスライドさせて4ヶ所のツメからはずし、下へおろします。

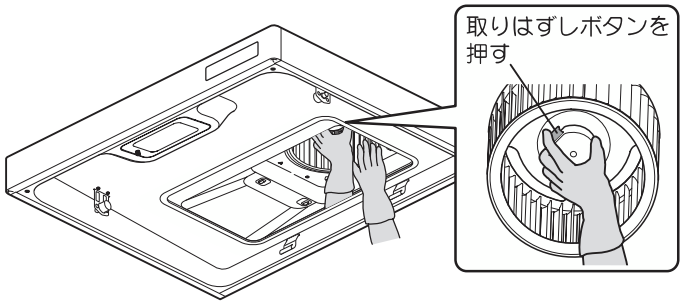
お願い

●取りはずしの際は、ベルマウスに油がたまっている場合がありますので、油ダレに十分ご注意ください。

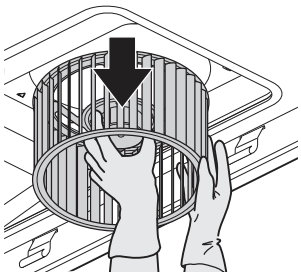


3 ファンをはずします。

1）ファン中央側面の取りはずしボタンを押すと、ロックがはずれます。

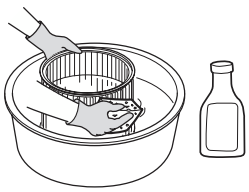


2）下方へ取り出します。



■ ファンの洗いかた

ファンを本体からはずし、中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。
汚れを落としたあと、洗剤が残らないよう水洗いし、水気を取ってから取り付けてください。



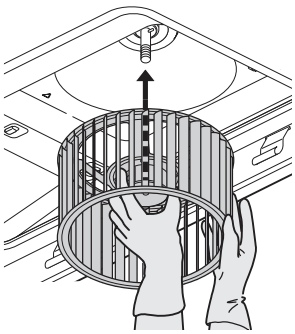
1802 Z982

お手入れのしかた

■ ファンの取り付けかた

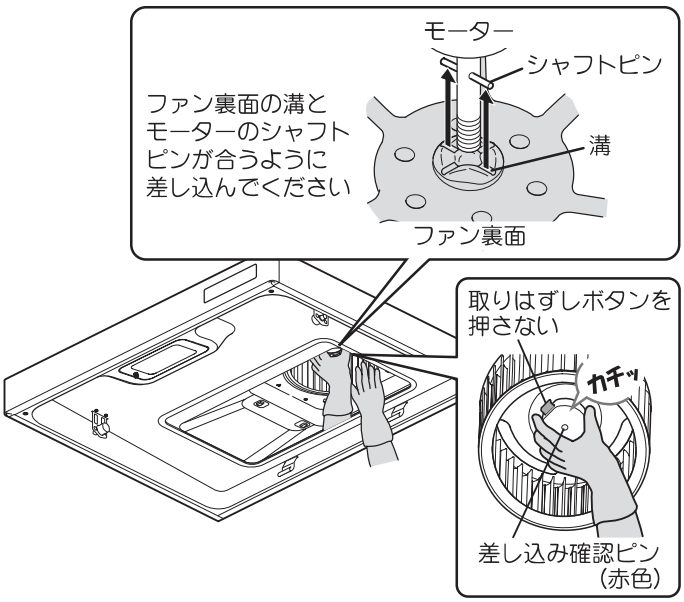
1 **ファンを取り付けます。**

取りはずしボタンを押さずにファンを持ち、ファン裏面の溝とモーターのシャフトピンを合わせ、差し込み確認ピン（赤色）が飛び出すまで差し込んでください。
取り付け後、少しひっぱり、はずれないことを確認してください。



お願い

●ファン裏面の溝がシャフトピンに合うように確実に差し込んでください。
（溝がシャフトピンに合っていないと異常音や落下によりケガをするおそれがあります。）



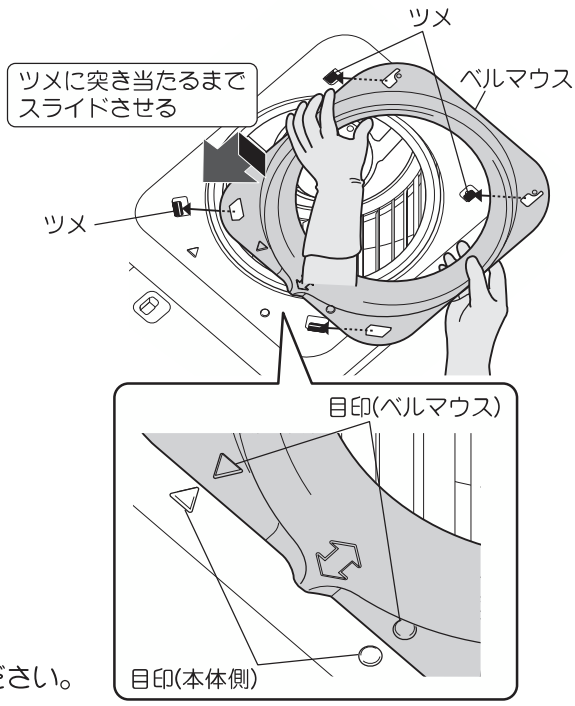
2 **ベルマウスを取り付けます。**

1）ベルマウスと本体の目印を合わせ、ベルマウスの四つ角の穴にツメを通します。

2）オイルパック取付位置の方向へツメに突き当たるまでスライドさせます。

お願い

●ベルマウスは確実に取り付けてください。
（異音や故障の原因になります。）



3 **組み立てのしかた（11 ～ 12 ページ）を参照して、オイルパックおよび整流板を取り付けます。**

※完了後は、電源プラグを抜いた場合は電源プラグを差し込んでください。
ブレーカーを切った場合はブレーカーを入れてください。

お手入れのしかた

ランプ交換のしかた

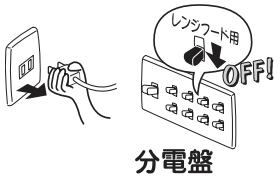
ご使用のランプが切れたときは、下記の市販の**ミニ電球**または**電球形蛍光灯**を購入し、交換してください。

- ミニ電球…… 定格 100V　40W 形　口金 E17
- 電球形蛍光灯… 定格 100V　電球 40W 形　口金 E17
  形名 EFD10E 形（取付可能寸法：長さ 91mm 以下、直径 45mm 以下）

⚠ 警告

プラグを抜く

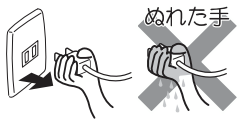
● **ランプ交換の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること**
感電やけがをするおそれがあります



分電盤

濡れ手禁止

● **電源プラグはぬれた手で抜き差ししないこと**
感電やけがをするおそれがあります



⚠ 注意

使用禁止

● **指定以外のランプを使わないこと**
ランプカバー周辺が高温となり、やけどをするおそれがあります
また、火災や故障の原因になります

高温注意

● **ランプの交換は、ガラスやランプが十分冷めてからおこなうこと**
やけどをするおそれがあります

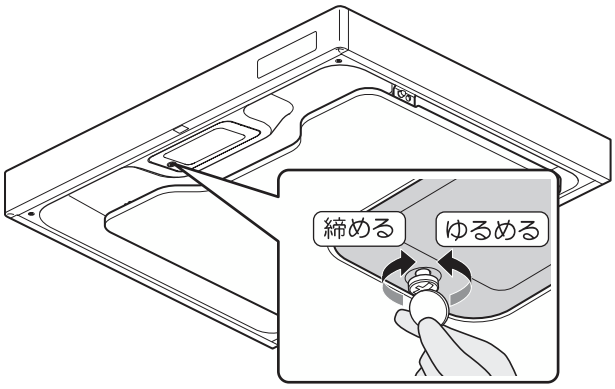
手袋をする

● **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

お手入れのしかた

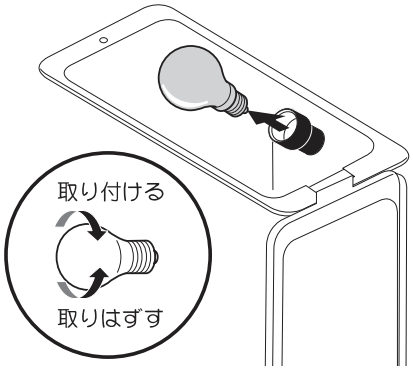
1 **ランプカバーを開きます。**

ランプカバーを手で支えながら、コインまたは
ドライバーで取付ねじをゆるめて開きます。
（取付ねじはランプカバーからはずれません。）



2 **ランプを交換します。**

切れたランプを取りはずし、ソケットに
新しいランプを確実に固定します。



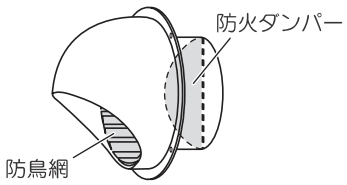
3 **ランプカバーを取り付けます。**

ランプカバーの取付ねじをしっかり締め付けて
ランプカバーを固定します。

※完了後は、電源プラグを抜いた場合は電源プラグを差し込んでください。
　ブレーカーを切った場合はブレーカーを入れてください。

故障かなと思ったら

修理を依頼されるまえに　次の点をもう１度お調べください。

症　状	考えられる原因	処　置
● スイッチを入れてもファン・ランプの電源が入らない。 ● ファンがまわらない。	● 分電盤のブレーカーが「切」になっている。 ● 電源プラグがはずれている。 ● ロック状態になっている。 ● 整流板の取り付けが不十分。	● 分電盤のブレーカーを「入」にする。 ● 電源プラグを差し込む。 ● ロックを解除する。（6 ページ参照） ● 整流板を取り付け直す。（12 ページ参照）
● ランプがつかない。	● ランプが切れている。 ● ランプの取り付けがゆるんでいる。	● ランプの交換をする。 ● ランプを取り付け直す。（18 ページ参照）
● 異音がする。	● ベルマウスの取り付けが不十分。 ● ファンの取り付けが不十分。 ● 外からの給気が十分でない。	● ベルマウスを取り付け直す。（16 ページ参照） ● ファンを取り付け直す。（16 ページ参照） ● 窓・給気口を開け、十分な給気を確保する。
● 吸い込みが悪い。	● 外からの給気が十分でない。 ● エアコンや窓からの風で煙が横にもれる。 ● 屋外のベントキャップの防鳥網が目詰まりしている。 ● 屋外の防火ダンパーが閉じていて、排気されない。 	● 窓・給気口を開け、十分な給気を確保する。 ● 風があたらないようにする。 ● 修理を依頼する。 ● 修理を依頼する。
● オイルパックに油がたまらない。	● 油料理の頻度や気候により油のたまり具合が異なるため。 ● 本体や整流板などに油がついている。（送風機以外についた油はオイルパックにはたまりません。）	● オイルパックに油がたまってから捨てる。（13 ページ参照） ● 本体や整流板についた油はその都度ふきとる。
● リモコンスイッチを操作しても動作しない。（別売リモコンを使用している場合）	● 電池が消耗している。 ● 電池の向きが間違っている。 ● リモコンの発信部や本体操作スイッチの受信部が油で汚れている。 ● ロック状態になっている。（ロック状態ではリモコンスイッチを押すと「ピピッ」という音がします。）	● 電池を交換する。 ● 電池を正しく入れる。 ● 発信部・受信部をそうじする。 ● ロックを解除する。（6 ページ参照）

仕 様

定格電圧 (V)	ノッチ	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m^3/h)		騒音 (dB)	質量 (kg)
				0Pa 時	100Pa 時		
100	強	50	95	540	430	48	600 幅 : 19.0 750 幅 : 21.5 900 幅 : 24.5
		60	110	490	440	46	
	中	50	59	330	–	36	
		60	60	290	–	34	
	弱	50	27	170	–	22	
		60	26	160	–	21	
	常時換気	50	19	125	–	19	
		60	23	135	–	19	

消費電力、風量、騒音の測定は JIS C 9603 による。
電球の消費電力：40 W（ミニ電球の場合）
騒音値、風量は実際の使用条件では変化しますのでご了承ください。
レンジフードは使用していないときでも約 1 Wの電力を消費しております。
レンジフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

アフターサービス（必ずお読みください）

補修用性能部品の最低保有期間

●当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切り後 6 年保有しています。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●製品の保証期間は、お買い上げ後取扱説明書、本体貼付ラベルの注意書に従った正常なご使用状態において 1 年間です。
ただし、次の場合には保証期間内でも有料になります。
(1)　火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧等不慮の事故により生じた故障および損傷。
(2)　使用上の誤り、改造等による故障および損傷。

保証書

この説明書の 23 ページが保証書になっています。

●この製品は保証書の内容にしたがって保証されています。お引渡し日、お取扱店名、取扱者印が記入してあることをご確認ください。また保証書の内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

●保証期間は保証書をご確認ください。

●保証期間中は保証書の規定にしたがって、修理させていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の内容をよくご確認ください。
例えば、「取扱説明書、取付説明書、貼付けラベルなどの注意書きにしたがっていない場合の不具合など」は有料になります。

●保証期間を過ぎている場合は、修理すれば使用できる商品についてはご希望により有料で修理させていただきます。

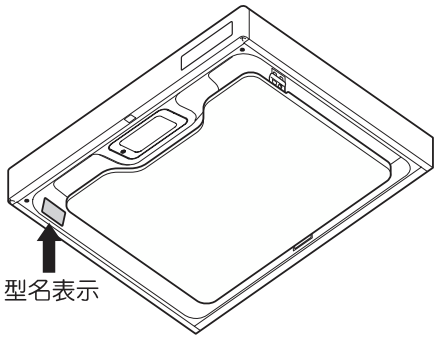
修理を依頼されるときは

19 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときはご使用を中止し、必ず電源プラグを抜くか、分電盤のブレーカーを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容	
品　名	レンジフード
型　名	
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

お買い上げの際に記入しておくとサービスを依頼されるときに便利です。

レンジフードの型名は、本体の左側面内側に表示してあります。



愛情点検

★長年ご使用の製品の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？	
	● スイッチを入れても、動かないときがある。
	● 運転中に異常な音や振動がある。
	● 焦げ臭いにおいがする。
	● その他、異常・故障がある。

ご使用中止	このような症状のときは、故障や事故防止のため、ブレーカーを切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

修理料金の仕組み

- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
- 技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料は、お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

保　証　書

型名	UGR-3R-AP602 / UGR-3R-AP752 / UGR-3R-AP902
保証期間	1年間　★お買い上げ日　　年　　月　　日
★お客様 ご住所	〒□□□-□□□□
お名前	様　　TEL　　(　　)
★販売店 住所	㊞ または サイン
店名	TEL　　(　　)

★印欄に記入のない場合は有効とはなりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合には直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

記

本書は、本書記載内容で、無料修理させていただくことをお約束するものです。

1．お客様の取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書による正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼のうえ、修理に際して、本書をご提示ください。無料修理させていただきます。
2．なお、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
3．つぎのような場合には保証期間内でも有料修理になります。
(1)ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
(2)お買い上げ後の落下や輸送上の故障および損傷。
(3)火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障および損傷。
(4)本書のご提示がない場合。
(5)本書にお客様名、お買い上げ日、販売店名のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
(6)一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。
(7)車輌、船舶などに、備品として使用した場合に生ずる故障および損傷。
4．本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
5．ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
6．離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理をおこなった場合は、出張に要する実費を申し受けます。

お客様へ　この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間などについて、詳しくは取扱説明書をご覧ください。なお、ご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。

修理記録	年月日	修理内容	担当者

見本

販売元
フジテックメンテナンス株式会社
本社
〒252-0206　相模原市中央区淵野辺２丁目１－９

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）

※ 経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。

【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。
【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

（設計上の標準使用期間とは）

※ 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※ 設計上の標準使用期間は、無償保障期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

● 「経年劣化とは」
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件　　日本工業規格 JIS C 9921-2 より引用

環境条件	電圧	単相　100V	
	周波数	50Hz 又は／及び60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603参照
	湿度	65%	JIS C 9603参照
	設置条件	標準設置	取付説明書による
負荷条件		定格負荷（換気量）	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間a) 台所　2 410時間／年	
注a)	常時換気（24時間連続換気）のものは、8 760時間／年とする。		

お客様の個人情報のお取り扱いについて

当社および当社関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記の通り、お取り扱いします。

1．当社は、お客様の個人情報を、当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2．当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3．お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

修理依頼について

修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

お客様メモ

ご購入店名（販売店）	
電話番号	－　　－
ご購入年月日	平成　　年　　月　　日

〔販売元〕**フジテックメンテナンス株式会社**
〒252-0206 相模原市中央区淵野辺２丁目１－９

お問い合わせ　０４２－７５３－１４４７（営業部 エアプロG）
ＦＡＸ　０４２－７６８－３３８３
ホームページ　http://www.airpro-pj.jp/
受付時間 ９：００～１７：４５（土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く）

〔製造元〕富士工業株式会社
〒252-0206 相模原市中央区淵野辺２丁目１－９

お客様ご相談窓口　0120−071−686
受付時間 ９：００～１８：００（土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く）